

## スポーツ健康学実習 I における学生間の人間関係と 新入生の学生生活との関連性に関する研究

大隈 節子 (教育学部保健体育講座)

### 1. はじめに

スポーツ健康学実習 I は全学において実施する「共通教育」の中の「保健体育教育科目」の一環であり、発展的実技授業としての「スポーツ実習 I・II」、またスポーツを楽しく行うための身体運動の仕組み、またスポーツ文化の意味や価値の認識を深める講義形式のスポーツ健康学概論との有機的連関のもとに開講されている<sup>1)</sup>。

現在、本学においてスポーツ健康学実習 I は医学部を除く他のすべての学部において必修に位置づけられており、同学部生のあいだで共にスポーツを実践する唯一の機会提供の場となっている。また、本授業が一年次前期という時期に開講されていることは、スポーツを通じた新入生間での交流にもつながり、新たな環境での学生生活全般にも影響を及ぼしていると考えられるのではないだろうか。

そこで本研究では、スポーツ健康学実習 I における学生間の人間関係と新入生の前期学生生活の在り様との関連性について検討することを目的としてアンケート調査を実施し、SPSS を用いて統計処理を行った上で現状について明らかにした。

### 2. 研究の方法

調査実施期間：2011年10月3日～7日

調査対象者：H23年度スポーツ健康学実習 II 履修者  
528名（男子321名、女子207名）

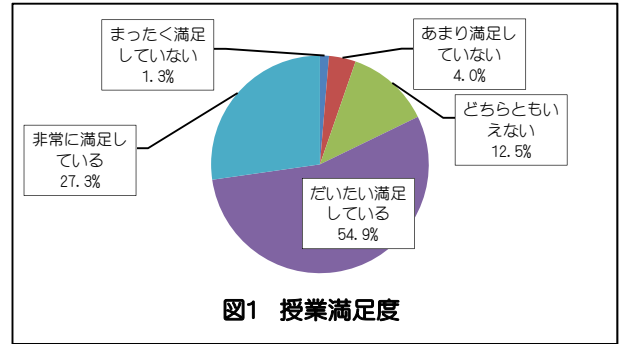
- 調査内容：①あなた自身について  
②大学生活全般について  
③スポーツ健康学実習 I について

### 3. 調査結果

#### 1) スポーツ健康学実習への授業状況

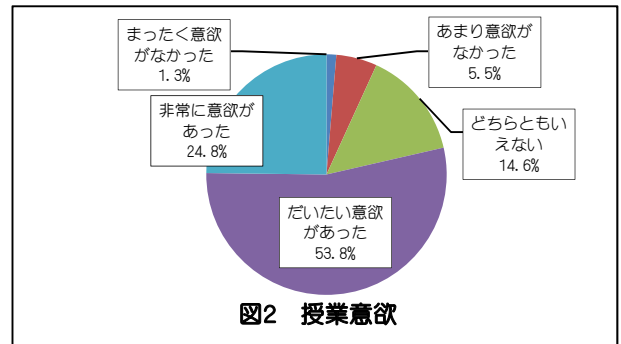
##### ①スポーツ健康学実習 I の授業満足度について

本授業満足度について、「非常に満足している」と回答した割合は27.3%、「だいたい満足している」と回答した割合は54.9%と8割以上の学生が満足傾向を示していることが明らかになった。一方で「あまり満足していない」は4.0%、「まったく満足していない」は1.3%であった。



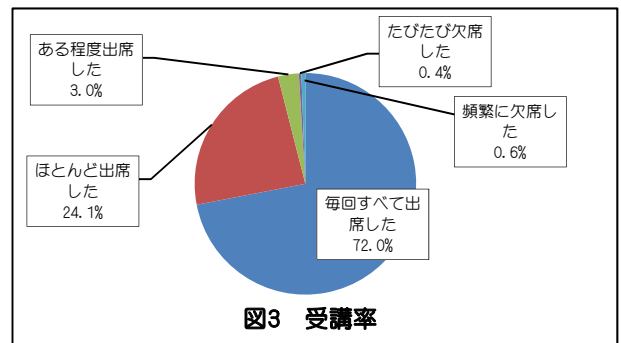
##### ②スポーツ健康学実習 I の授業意欲について

本授業に対する授業意欲について、「非常に意欲があった」の割合は24.8%、「だいたい意欲があった」の割合は53.8%で8割近くが意欲的に受講していることが明らかになった。一方「まったく意欲がなかった」は1.3%、「あまり意欲がなかった」は5.5%であった。



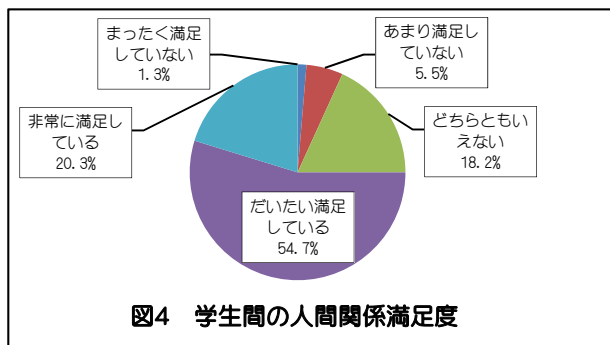
##### ③スポーツ健康科学実習 I の授業受講率

本授業の受講率について「毎回すべて出席した」の割合は72.0%、「ほとんど出席した」の割合は24.1%と9割以上の学生が1～2回の欠席以下であることが明らかになった。



④スポーツ健康学実習 I の人間関係満足度

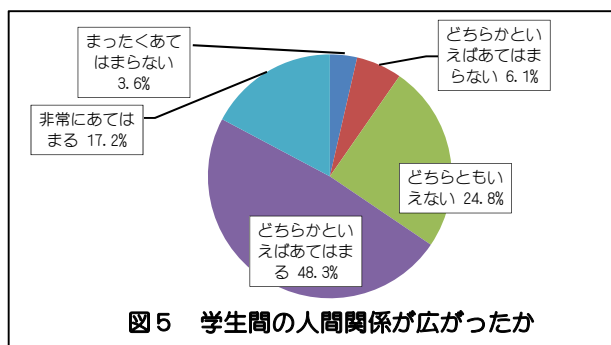
本授業における学生間の人間関係満足度について「非常に満足している」の割合は20.3%、「だいたい満足している」の割合は54.1%と7割以上の学生が満足傾向にあることがわかる。一方、「あまり満足していない」は5.5%、「まったく満足していない」は1.3%であった。



2) スポーツ健康学実習 I での人間関係について

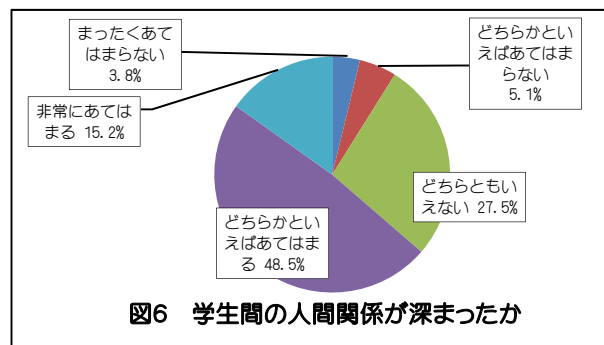
①人間関係の広がり

本授業を通した学生間の人間関係の広がりについて「非常に広がった」の割合は17.2%、「どちらかと言えば広がった」の割合は48.3%であり、6割以上の学生が本授業を通して学生間の関係が広がったと回答している。一方で、「どちらかと言えば広がっていない」の割合は6.1%、「まったく広がっていない」の割合は3.6%であった。



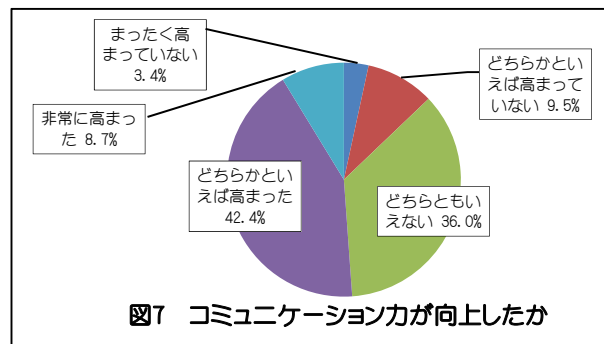
②人間関係の深まり

本授業を通した学生間の人間関係の深まりについて「非常に深まった」の割合は15.2%、「どちらかと言えば深まった」の割合は48.5%であり、6割以上の学生が本授業を通して学生間の関係が深まったと回答している。一方で、「どちらかと言えば深まっていない」の割合は5.1%、「まったく広がっていない」の割合は3.8%であった。



③授業を通してコミュニケーション能力が向上したか

本授業を通したコミュニケーション能力の向上について「非常に高まった」と回答した割合は8.7%、「どちらかと言えば高まった」は42.4%と5割以上が授業を通してコミュニケーション能力が高まったと感じている。一方で、「どちらかと言えば高まっていない」は9.5%、「まったく高まっていない」は3.4%であった。



3) スポーツ健康学実習 I における学生間の人間関係と授業への取り組みとの関連性について

① 学生間での人間関係の広がりや授業満足度との関連性

本授業を通して人間関係が広がったかどうかの質問について、授業満足度との関連性について分析したところ、有意差が見られた。

授業を通して学生間の人間関係が「非常に広がった」と回答した学生の68.1%が授業に対し「非常に満足している」と回答し、27.5%が「だいたい満足している」と回答している。また、授業を通して学生間の人間関係が「どちらかといえば広がった」と回答した学生の24.3%が授業に対し「非常に満足している」と回答し、64.3%が「だいたい満足している」と回答している。一方で、授業を通して学生間の人間関係が「どちらかといえば広がっていない」と回答した学生の9.4%が授業に対し「非常に満足している」と回答し、56.3%が「だいたい満足している」と回答している。また、授業を通して学生間の人間関係が「まったく広がっていない」と回答した学

生の 10.5%が授業に対し「非常に満足している」と回答し、31.6%が「だいたい満足している」と回答している。

② 授業を通した学生間の人間関係の広がりとう講率との関連性

本授業を通して人間関係が広がったかどうかによる授業受講率との関連性について分析したところ、有意差が見られた。

授業を通して学生間の人間関係が「非常に広がった」と回答した学生の 82.4%が授業に対し「毎回授業に出席した」と回答し、12.1%が「ほとんど出席した」と回答している。また、授業を通して学生間の人間関係が「どちらかといえば広がった」と回答した学生の 72.9%が授業に対し「毎回授業に出席した」と回答し、25.5%が「ほとんど出席した」と回答している。

一方で、授業を通して学生間の人間関係が「どちらかといえば広がっていない」と回答した学生の 65.6%が「毎回授業に出席した」と回答し、28.1%が「ほとんど出席した」と回答している。また、授業を通して学生間の人間関係が「まったく広がっていない」と回答した学生の 68.4%が「毎回授業に出席した」と回答し、15.8%が「ほとんど出席した」と回答している。

③ 授業を通した学生間の人間関係の広がりとう業意欲との関連性

授業を通した学生間の人間関係の広がりとう業への意欲を分析したところ、有意差が見られた。

授業中に人間関係が「非常に広がった」学生の 65.9%は「非常に意欲があった」と回答し、30.8%が「だいたい意欲があった」と回答している。また、「どちらかといえば広がった」学生の 22.0%が「非常に意欲があった」と回答し、62.7%が「だいたい意欲があった」と回答している。

一方、授業中に人間関係が「あまり広がっていない」学生は「非常に意欲があった」が 9.4%、「だいたい意欲があった」が 46.9%であり、「あまり意欲がなかった」が 18.8%、「まったく意欲がなかった」が 3.1%であった。

また、授業中に人間関係が「まったく広がっていない」学生の「非常に意欲があった」は 10.5%、「だいたい意欲があった」が 36.8%であり、「あまり意欲がなかった」が 21.1%、「まったく意欲がなかった」が 15.8%という結果であった。

④ 授業を通した学生間の人間関係の深まりとう業満足度との関連性

本授業を通して人間関係が深まったかどうかの質問

について授業満足度との関連性について分析したところ、有意差が見られた。

授業を通して学生間の人間関係が「非常に深まった」と回答した学生の 72.5%が授業に対し「非常に満足している」と回答し、23.8%が「だいたい満足している」と回答している。

また、授業を通して学生間の人間関係が「どちらかといえば深まった」と回答した学生の 27.3%が授業に対し「非常に満足している」と回答し、63.7%が「だいたい満足している」と回答している。

一方で、授業を通して学生間の人間関係が「どちらかといえば深まっていない」と回答した学生の 11.1%が授業に対し「非常に満足している」と回答し、51.9%が「だいたい満足している」と回答している。

また、授業を通して学生間の人間関係が「まったく深まっていない」と回答した学生のうち、授業に対し「非常に満足している」と回答した学生は 0.0%、「だいたい満足している」は 45.0%であった。

⑤ 授業を通した学生間の人間関係の深まりとう講率との関連性

本授業を通して人間関係が深まったかどうかによる授業受講率との関連性について分析したところ、有意差が見られた。

授業を通して学生間の人間関係が「非常に深まった」と回答した学生の 86.3%が授業に対し「毎回授業に出席した」と回答し、8.8%が「ほとんど出席した」と回答している。

また、授業を通して学生間の人間関係が「どちらかといえば深まった」と回答した学生の 75.0%が授業に対し「毎回授業に出席した」と回答し、22.7%が「ほとんど出席した」と回答している。

一方で、授業を通して学生間の人間関係が「どちらかといえば深まっていない」と回答した学生の 59.3%が「ほとんど出席した」と回答し、29.6%が「ほとんど出席した」と回答している。また、授業を通して学生間の人間関係が「まったく深まっていない」と回答した学生の 70.0%が「非常に広がった」と回答し、15.0%が「ほとんど出席した」と回答している。

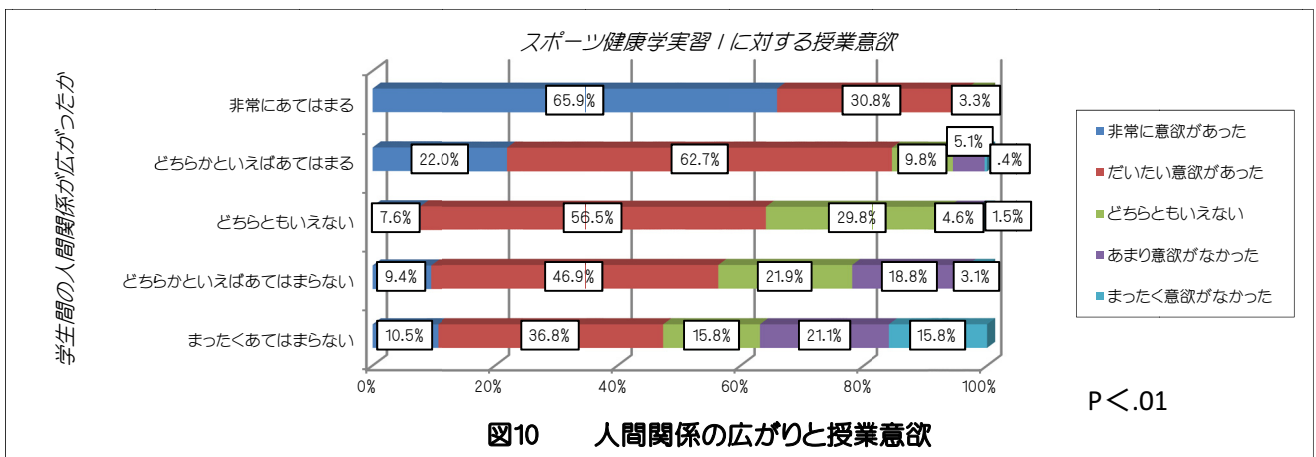
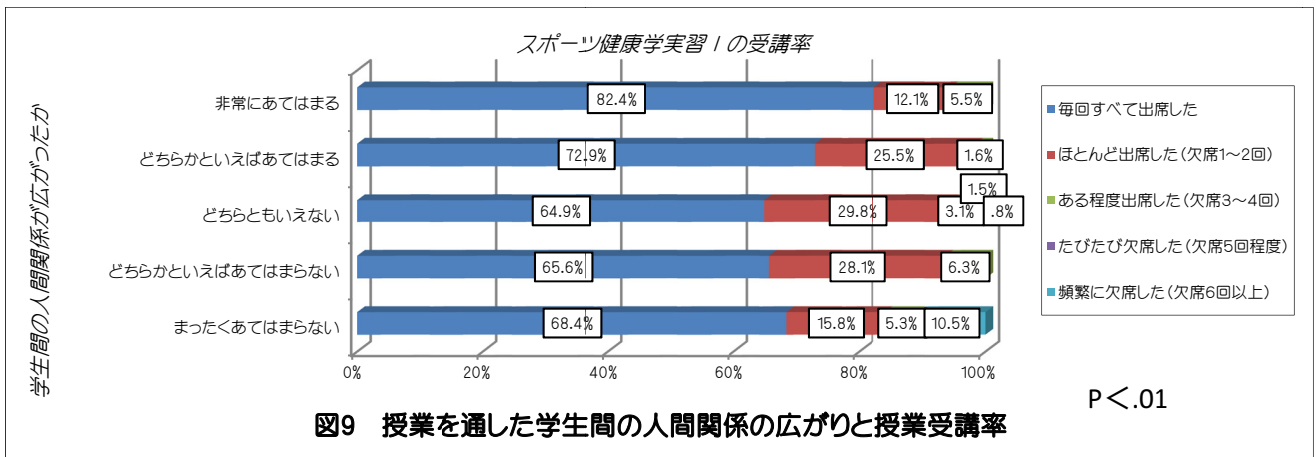
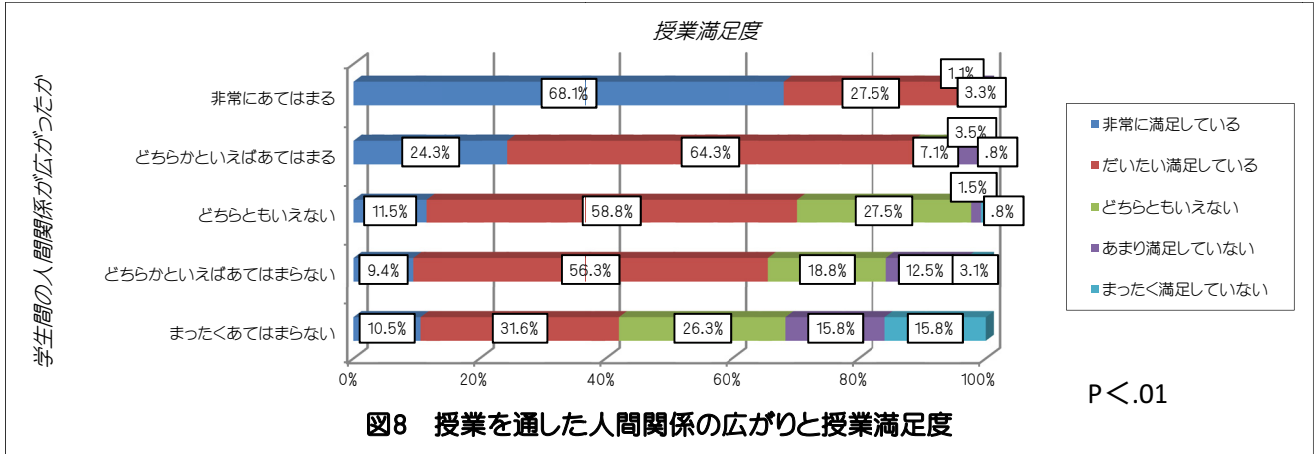
⑥ 授業を通した学生間の人間関係の深まりとう業意欲との関連性

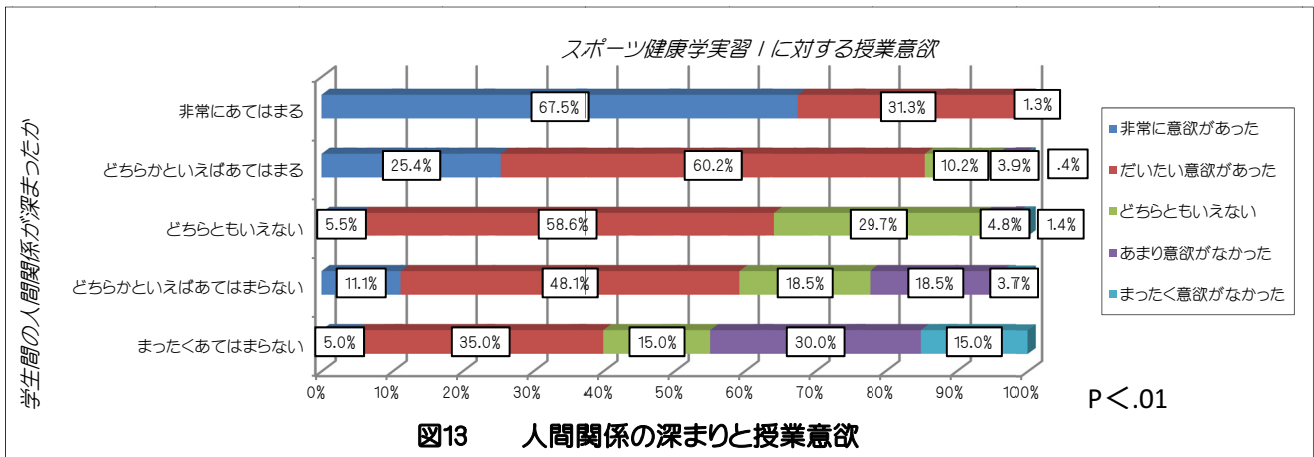
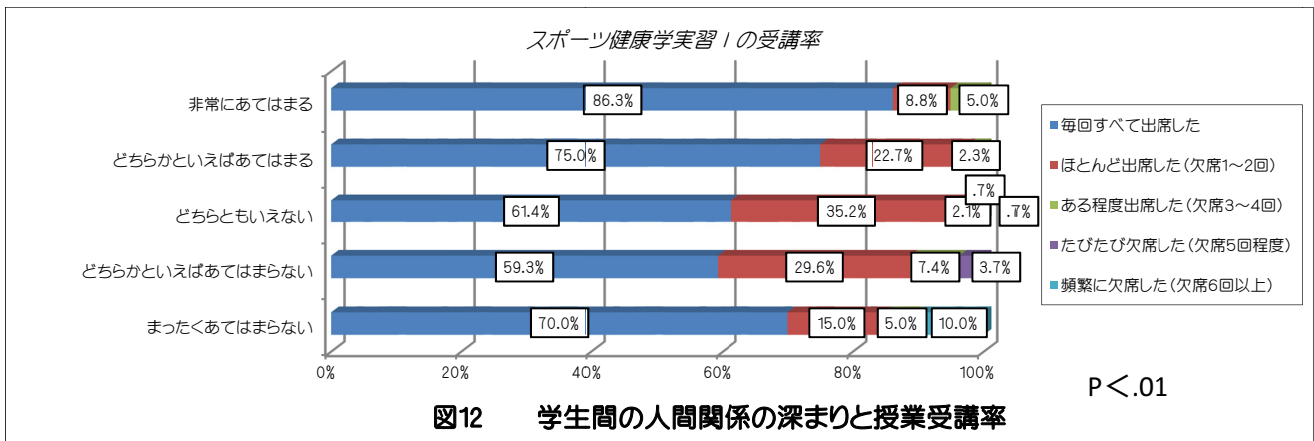
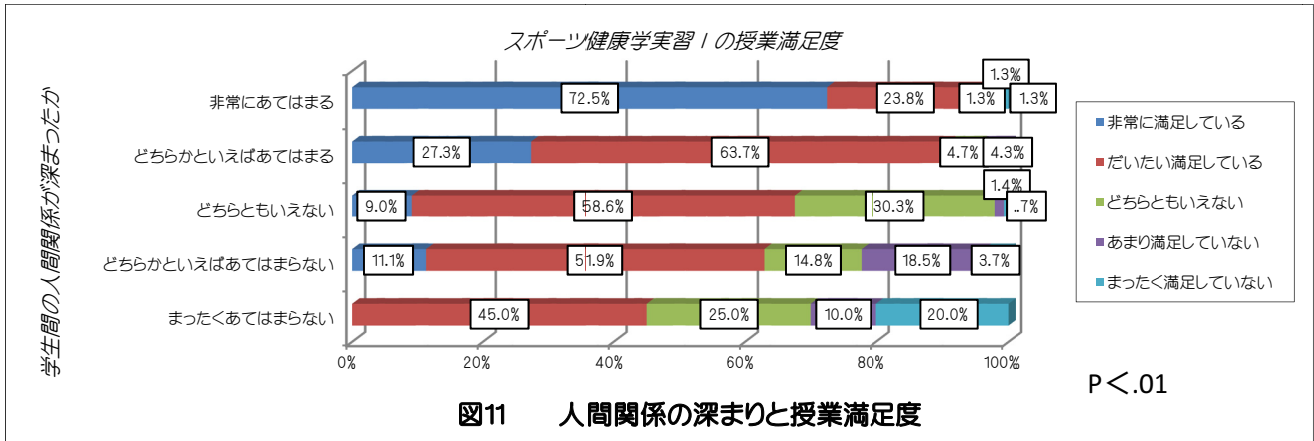
授業を通した学生間の人間関係の深まりとう業への意欲を分析したところ、有意差が見られた。

授業中に人間関係が「非常に深まった」学生の 67.5%は「非常に意欲があった」と回答し、31.3%が「だいた

い意欲があった」と回答している。また、「どちらかといえば深まった」学生の25.4%が「非常に意欲があった」と回答し、60.2%が「だいたい意欲があった」と回答している。一方、授業中に人間関係が「あまり深まっていない」学生は「非常に意欲があった」が11.1%、「だいたい意欲があった」が48.1%であり、「あまり意欲がなかつ

た」が18.5%、「まったく意欲がなかった」が3.7%であった。また、授業中に人間関係が「まったく深まっていない」学生の「非常に意欲があった」は5.0%、「だいたい意欲があった」が35.0%であり、「あまり意欲がなかった」が30.0%、「まったく意欲がなかった」が15.0%という結果であった。





4) スポーツ健康学実習 I での学生間の人間関係と大学生活全般との関連性について

① 学生間での人間関係の広がり と 大学生活全般への満足度との関連性

本授業を通して人間関係が広がったかどうかの質問について大学生活全般への満足度との関連性を分析したところ、有意差が見られた。授業を通して学生間の人間関係が「非常に広がった」と回答した学生の24.2%が大学生活全般に対し「非常に満足している」と回答し、63.7%が「だいたい満足している」と回答している。また、授

業を通して学生間の人間関係が「どちらかといえば広がった」と回答した学生の5.1%が大学生活全般に対し「非常に満足している」と回答し、73.3%が「だいたい満足している」と回答している。一方で、授業を通して学生間の人間関係が「どちらかといえば広がっていない」と回答した学生の3.1%が大学生活全般に対し「非常に満足している」と回答し、53.1%が「だいたい満足している」と回答している。また、授業を通して学生間の人間関係が「まったく広がっていない」と回答した学生の5.3%が大学生活全般に対し「非常に満足している」と回答し、



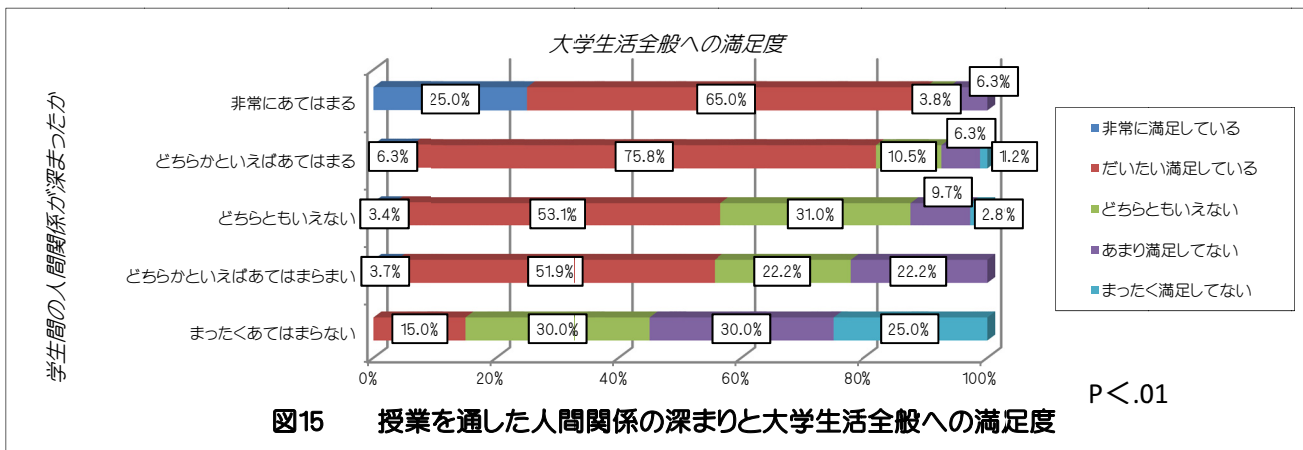
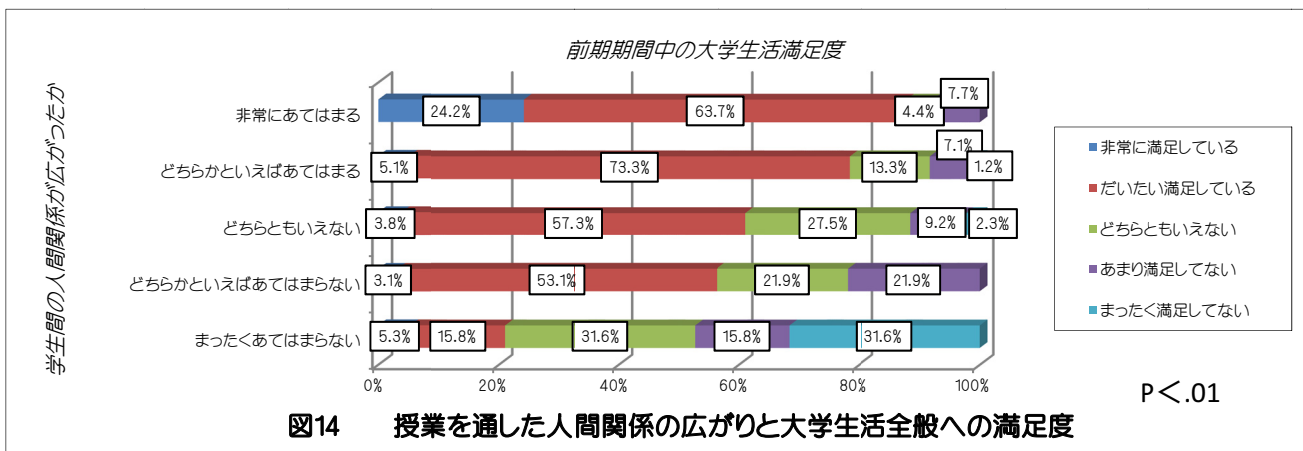
15.8%が「だいたい満足している」と回答している。

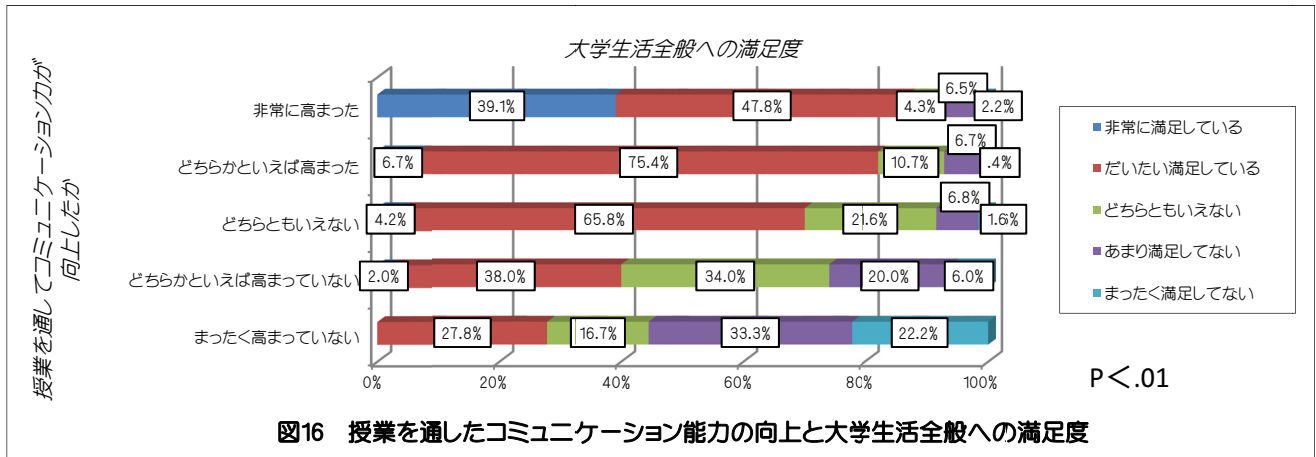
② 学生間での人間関係の深まりと大学生活全般への満足度との関連性

本授業を通して人間関係が深まったかどうかの質問について大学生活全般への満足度との関連性について分析したところ、有意差が見られた。授業を通して学生間の人間関係が「非常に深まった」と回答した学生の25.0%が大学生活全般に対し「非常に満足している」と回答し、65.0%が「だいたい満足している」と回答している。また、授業を通して学生間の人間関係が「どちらかといえば深まった」と回答した学生の6.3%が大学生活全般に対し「非常に満足している」と回答し、75.8%が「だいたい満足している」と回答している。一方で、授業を通して学生間の人間関係が「どちらかといえば深まっていない」と回答した学生の3.4%が大学生活全般に対し「非常に満足している」と回答し、53.1%が「だいたい満足している」と回答している。また、授業を通して学生間の人間関係が「まったく深まっていない」と回答した学生で大学生活全般に対し「非常に満足している」と回答した学生は0.0%であり、15.0%が「だいたい満足している」と回答している。

③ コミュニケーション能力の向上と大学生活全般への満足度との関連性

本授業を通してコミュニケーション能力が高まったかどうかの質問について大学生活全般への満足度との関連性について分析したところ、有意差が見られた。授業を通してコミュニケーション能力が「非常に高まった」と回答した学生の39.1%が大学生活全般に対し「非常に満足している」と回答し、47.8%が「だいたい満足している」と回答している。また、授業を通してコミュニケーション能力が「どちらかといえば高まった」と回答した学生の6.7%が大学生活全般に対し「非常に満足している」と回答し、75.4%が「だいたい満足している」と回答している。一方で、授業を通して授業を通してコミュニケーション能力が「どちらかといえば高まっていない」と回答した学生の2.0%が大学生活全般に対し「非常に満足している」と回答し、38.0%が「だいたい満足している」と回答している。また、授業を通して授業を通してコミュニケーション能力が「まったく高まっていない」と回答した学生で大学生活全般に対し「非常に満足している」と回答した学生は0.0%であり、27.8%が「だいたい満足している」と回答している。





#### 4. 考察

##### 1) 学生間の人間関係について

本授業における受講生間の人間関係について7割以上の学生が満足傾向にあることが明らかになった。更に受講学生の6割以上が人間関係の広がり、また深まりがあったと回答しており、本授業が学生にとって唯一のスポーツ学習の場であることと共に半数以上の新入生においては学生間交流の場としても貢献していることが明らかになった。

##### 2) スポーツ健康学実習 I の授業満足度との関連性について

スポーツ健康学実習 I での学生間の人間関係の広がり、また深まりと受講した授業への満足度との関連性について有意差が見られ、人間関係の広がり、深まりのあった学生の方が授業満足度が高い傾向にあることが明らかになった。授業意欲においても同様に広がり、深まりのあった学生ほど意欲も高いことが分かった。一方で、授業受講率との関連性については、有意な差は見られたものの人間関係に影響がなかったと回答した学生においても全14回の授業のほとんどを受講しており、受講率の高さについては、本授業が必修であることの影響が大きいと思われる。学生間の人間関係や授業満足度が低かった15%弱の一部の学生については、授業評価の関係上途中から授業にも参加しなくなり、単位未取得の状態であることが推測される。

##### 3) 一年次前期の大学生生活全般への満足度との関連性について

本授業における学生間の人間関係満足度と一年次前期の大学生生活全般への満足度との関連性について検討した結果、有意な差が明らかになった。

授業を通して人間関係が広がったかと回答した学生ほど、大学生生活全般に対する満足度は高く、広がっていない学生ほど満足度は低い傾向にある。このことは人間関

係が深まったか、またコミュニケーション能力が向上したかの質問に対しても同様の傾向が見られた。

これらのことから、一年次前期に開講されているスポーツ健康学実習 I は新入生の人間関係の広がり、深まり、またコミュニケーション能力の向上に影響を及ぼしていると共に、そのことがスポーツ健康学実習 I の授業満足度、さらには大学生生活全般の満足度にも関連をしていることが明らかになった。

#### 5. まとめ

近年、スポーツには様々な効果が期待されている。中でも、スポーツの持つコミュニケーション構築への効果については、個人間の関係構築による効果にとどまらず、コミュニティの創造など社会的機能の再生にも期待がなされている<sup>2)</sup>。

本研究では、大学生においても新入生間の人間関係を構築することは安定した学生生活を送る上での重要な要因の1つであることを仮定し、一年次前期に共通教育にて開講されているスポーツ健康学実習 I を通じた人間関係の現状について明らかにした上で、授業満足度や学生生活全般への影響について検討を行った。

調査の結果、このスポーツ健康学実習 I の授業を通じて、受講生の半数以上が授業を通して人間関係の広がり、深まり、更にはコミュニケーション能力が向上したと回答し、さらにそれらが認められた学生ほど授業満足度、学生生活全般への満足度が高いことが明らかになり、スポーツ健康学実習 I が新入生のよりよい学生生活を送る上でその一躍を担っている可能性が明らかになった。

#### 参考文献

- 1) 三重大学 三重大学共通教育履修案内 p.34-36 2011
- 2) 財)日本体育協会公認スポーツ指導者養成テキストⅡ p.18-19 2011